

2010年10月13日

米オバマ大統領殿

原水爆禁止大阪府協議会
理事長 篠浦一朗

米未臨界核実験に強く抗議する

米エネルギー省の発表によると9月15日ネバダで未臨界核実験を実施した。実験は2006年8月以来4年ぶりで、「核兵器のない世界」を提唱したオバマ政権では初めてであり、絶対に許すことはできない。

オバマ大統領はことしの4月ロシアと新たな戦略核削減条約を結び、また、「使える核兵器」と新たな「核態勢見直し」を発表するなど、核兵器の廃絶を言いながら「世界に核兵器がある限り強力な核抑止力」を維持する立場を表明していた。

しかし今年5月NPT（核不拡散条約）再検討会議の最終文書では、世界の大きな流れとして、「核兵器のない世界の平和と安全を達成する」ことや、2000年5月に核兵器国が受け入れた「自国の核兵器完全禁止の明確な約束」を確認した。

こうしたなかでの実験は、核兵器のない世界へ向けての流れに逆行するものであり、大阪原水協は強く抗議する。われわれは、核兵器のない世界に向け核保有国をはじめすべての国の政府がすみやかに核兵器禁止・廃絶条約の交渉を開始し、締結することをよびかける。

以上